

公開フォーラム
「民族の政治」は終わったのか?—
2008年マレーシア総選挙の現地報告と分析
開催概要

●5月4日(日) 13:00-19:00

13:00-13:10 趣旨説明

山本 博之 (京都大学)

13:10-13:50 基調報告

BN体制とは何か: 仕組みと特徴

鳥居 高 (明治大学)

13:50-16:10 セッション1 BN体制の変容?—マクロ政治からの視座

司会 山本 博之

データで見る第12回総選挙結果の特徴

中村正志 (アジア経済研究所)

政治システムは変わるか—2008年総選挙における

3分の2議席割れの政治的意味

金子 芳樹 (獨協大学)

争点と政策空間の変容からBNへの投票行動を説明する

鈴木 絢女 (日本学術振興会特別研究員・政策研究大学院大学)

16:30-18:30 セッション2 BN体制への対応(1)—民族別の改革の試み 司会 河野 元子

華人がいま代表者に求めている役割

篠崎 香織 (在マレーシア日本大使館)

マレーシア・イスラーム党 (PAS) の新路線と第12回マレーシア総選挙

塩崎 悠輝 (同志社大学大学院・在マレーシア日本大使館)

●5月5日(月) 10:00-17:30

10:00-12:00 セッション3 BN体制への対応(2)—民族間関係の再編の試み

司会 鈴木 絢女

新世代と「オールタナティブ・メディア」:

総選挙の裏側で起こっていた地殻変動

伊賀 司 (神戸大学大学院)

「新党」は政治変革をもたらすのか: マレーシア政治の視点から

川端 隆史 (外務省)

13:30-16:00 セッション4 「地方の論理」をどう読み解くか

司会 村上 咲 (京都大学大学院)

トレンガヌ・マレーの選択: なぜ、スイングしなかったのか

河野 元子 (京都大学大学院)

なぜサラワクとサバではBNが「圧勝」したのか

森下 明子 (日本学術振興会特別研究員・京都大学)

「サバBN圧勝」と「サバ人のサバ」のゆくえ

山本 博之 (京都大学)

16:10-17:10 総合討論

司会 山本 博之

主催: 関西マレー世界研究会 (世話人: 山本博之、河野元子)

共催: 京都大学地域研究統合情報センター共同研究ユニット

「イスラム教圏東南アジアにおける宗教と民族の複層化」(代表: 山本 博之)

科学研究費補助金基盤研究B

「イスラム教圏東南アジアにおける学知の制度化と実践に関する総合的研究」(代表: 山本 博之)

科学研究費補助金基盤研究A

「ポスト・グローバル化時代の現代世界: 社会の脆弱化と共存空間の再編」(代表: 押川 文子)

科学研究費補助金基盤研究B

「グローバル化時代の民主化と政軍関係に関する地域間比較研究」(代表: 玉田 芳史)

京都大学東南アジア研究所「比較の中の東南アジア」研究会

東南アジア学会関西例会

日本マレーシア研究会関西例会

企画・運営: 山本博之、河野元子、鈴木絢女、村上咲

参加者・討論発言者一覧

※所属は公開フォーラム開催当時のもの

伊賀 司	神戸大学大学院
内田 晴子	京都大学大学院
岡本 正明	京都大学東南アジア研究所
岡本 義輝	宇都宮大学大学院
金子 芳樹	獨協大学
川端 隆史	外務省
河野 元子	京都大学大学院
真好 康志	神戸大学
塩崎 悠輝	同志社大学大学院・在マレーシア日本大使館
篠崎 香織	在マレーシア日本大使館
鈴木 絢女	日本学術振興会特別研究員・政策研究大学院大学
坪井 祐司	学習院大学非常勤講師
鳥居 高	明治大学
中村 正志	アジア経済研究所
西尾 寛治	防衛大学校
西 芳実	東京大学
舩谷 鋭	立教大学
村上 咲	京都大学大学院
森下 明子	日本学術振興会特別研究員・京都大学
山本 博之	京都大学地域研究統合情報センター
鷺田 任邦	東京大学大学院

日本マレーシア研究会 (JAMS)

日本マレーシア研究会 (Japan Association for Malaysian Studies, JAMS) は、マレーシアおよびその近隣地域の研究を目的に1992年に設立されました。現在、国内在住の研究者を中心に約190名の会員が所属しています。

JAMSは、

- 国際レベルで参照されるマレーシア研究の最前線研究者の育成
- 海外地区活動を含む多種多様な連携研究会を結ぶネットワーク作り
- 国内の学会・研究会や研究プロジェクトをつなぐ研究連携
- 実務家の視点を取り入れた研究と社会の橋渡しを進める社会連携
- 自然災害対応などにおける研究活動を通じた社会への実践的貢献
- ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じた会員や社会への発信など、マレーシア研究を軸に幅広い活動を行っています。

JAMSの活動についてはJAMSウェブサイト (<http://jams92.org/>) をご覧ください。

関西マレー世界研究会

関西マレー世界研究会は、日本マレーシア研究会 (JAMS) の関西地区のメンバーを中心に、京都を拠点に2006年4月に活動を開始しました。JAMSには連携研究会として参加しています。

マレーシア、インドネシアや近隣地域を含むマレー世界に関心を持つさまざまな分野の人が集まり、読書会と研究会を通してマレー世界についてのより深い理解をめざしています。京都大学地域研究統合情報センターを主な会場として、長期休暇期間を除いて毎月1回のペースで開催しています。

読書会では、ウィリアム・ロフの『マレー・ナショナリズムの諸起源』など、マレー世界研究の古典を講読しています。

研究会では、大学院生から若手研究者、シニア研究者まで、幅広い人々が研究発表しています。いずれの研究発表にも共通しているのは、データの細かさで勝負するのではなく、それらをどのように組み立てればどのような像が描けるのかに主たる関心が寄せられている点です。知識の共有にとどまらず、ディスカッションではさまざまなアイデアが飛び出す興味深い会が続いています。

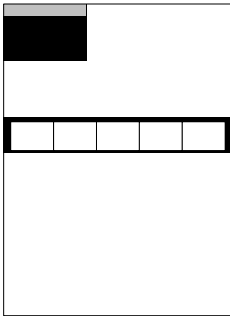
開催情報などは JAMS メーリングリストなどを通じてご案内しています。

●世話人

河野元子 (京都大学大学院) (kawano@asafas.kyoto-u.ac.jp)

山本博之 (京都大学) (yama@cias.kyoto-u.ac.jp)

表紙写真の解説



- ①PBS (左) とBN (中央) の旗。手を結ぶと共にはためく。単独のDAP (右) ははためかない。
- ②アンワール (右) とジェフリー (左) が「サバに新しい希望を」と訴えるPKRの選挙看板。
- ③大勢の支持者とともに立候補届け出に向かうPASの候補者。マレー人以外の支持者も見える。
- ④「華語教育と民生福祉サービスのために奮闘する候補者に一票を」と訴えるBNの横断幕。
- ⑤投票日の投票所付近の様子。各党がテントを構え、有権者登録の確認を手伝う。写真はBN。

JAMS Discussion Paper 1

「民族の政治」は終わったのか？

2008年マレーシア総選挙の現地報告と分析

編集 山本 博之

発行者 日本マレーシア研究会 (JAMS)

京都市左京区吉田本町 〒606-8501

京都大学地域研究統合情報センター 山本博之研究室内

<http://jams92.org>

発行 2008年7月
